



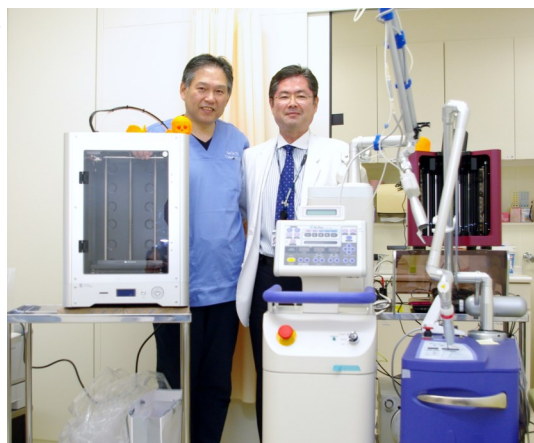
なかむら あきおう

## ◆診療科紹介 一般救急外科・形成外科 中村 明央

当科は外科系診療センターに所属し、外科系救急疾患全般を迅速に対処すべく、新たに設けられた一般救急外科と形成外科が協力し、日々の診療を行っています。チーム医療を基本とし、いわゆる臨床医として必要な外科系疾患の診断、初期治療ができ、さらに消化器外科、内視鏡、内視鏡外科といったサブスペシャリティーを持ち合わせた外科医の育成に努めております。救急外傷は形成外科と協力し、診断・治療を行い、また、様々な手術を形成外科と合同で行っております。その形成外科は外傷以外にも先天性および後天性の外表面異常を扱うため、体表の良性腫瘍・悪性腫瘍全般は皮膚科と協力し、皮下の腫瘍に関しては耳鼻科や口腔外科、小児科、小児外科、脳外科など連携しながら手術を行っています。その他眼瞼下垂や顔面神経麻痺など顔面の機能障害に対しても治療が可能です。レーザー治療、美容手術なども行っております。簡単に言うと目に見える皮膚異常に関して幅広く対応しております。

最近では乳癌術後乳房再建にも取り組んでおります。

地域との連絡を密にし、建学の精神「至誠一貫」に基づいたより良い医療を提供していく所存です。



左から門松講師、中村教授

### 第12号のトピックス

- 診療科紹介
  - 一般救急外科・形成外科 —
  - 麻酔科 —
- 防災訓練
- 部門紹介
  - ICU・CCU —



## ◆診療科紹介 麻酔科 鈴木 尚志

今日の医療は、医師や看護師のみならず多様な専門職種の相互協力によって成り立っています。一方、医師自体も診療の対象や手段によって、多数の診療科に分化を遂げてきました。「麻酔科」もそうした比較的新しい診療科の一つです。日本で初めての「麻酔科」が東京大学に設置されたのが1952年ですから、既に約60年余の歴史を有します。一般の方々の認知度は高いとはいえませんが、最近ではテレビドラマや漫画の世界にも麻酔科医が登場しているので、状況は少しずつ変化しているかもしれません。



麻酔科スタッフ(右から3人目鈴木教授)

当院の4階には14の手術室を擁する中央手術部があり、全ての手術がここで行われています。現在稼働している手術室は約半数に留まりますが、全面的に稼働するのさほど遠い将来ではないと想像します。しかし、麻酔科医の人員不足が悩みの種となっています。中央手術部の隣には、大きな手術を受けられた患者さまや重症の患者さまの治療をおこなうための集中治療部（ICU）が設けられています。私達麻酔科医は、常時この4階フロアに詰めています。地域の急性期医療を担うことを目標に掲げた当院にとって、麻酔科医は

不可欠な存在ですが、同時に患者さまからも医療スタッフからも信頼される存在であるべく研鑽を積んでいます。手術が予定された患者さまには、麻酔科医が事前に診察や説明をいたします。質問や要望があれば、何なりとお話ください。安全で、術後の痛みや不快感が軽く済み、さらには手術後の経過に良い影響を及ぼすような麻酔を目指して、今後とも診療に従事いたしますので、宜しく願いたします。



No. 8 手術室

## 平成26年度 第2回江東豊洲病院 防災訓練 活動報告

平成27年3月6日（金）に防災訓練を実施しました。

今回は、病棟での自衛消防活動、本部での職員招集訓練、そして医師・看護師・事務でチームを組みトリアージ訓練を行いました。また、深川消防署のご協力のもと、はしご車演習や放水活動を実演していただきました。消防隊および町会の方々に編成されている消防団併せて約40名の参加者が、声を掛け合い協力して救助活動を行いました。その周りには、病院職員だけでなく、近隣の住民の方々も駆けつけ、真剣な表情で訓練の様子を見学されました。前回より大規模な訓練となり、東京都災害拠点病院としての体制づくりとして、大きな一歩となりました。

文責：菅 秀彰（管理課）



救急センター長 弘重教授に東京消防庁城東消防署長感謝状が贈呈されました。



この感謝状は、平成26年度第七消防方面救助救急訓練に、江東区医師会医療班として参加し、消防部隊との連携強化並びに現場救護体制の充実に貢献したとして、感謝の意を表していただいたものです。

平成27年3月13日（金）に昭和大学江東豊洲病院3階院長応接室で、城東消防署より贈呈されました。

文責：高田 義孝（管理課）

## ◆部門紹介 ICU・CCU 山下 圭吾

ICU・CCUは4階にあります。開院当初は看護師数も20名程度で病床数もわずか4床でのスタートでした。現在は看護師も増え総数27名で10床まで増床し2対1の看護を提供しています。入室患者は心臓血管外科を中心に周手術期の患者さんや急性心筋梗塞等の内科系疾患の患者さんが入室されています。重症で補助循環装置や人工呼吸器管理をしている方や、易感染状態の患者さんがいらっしゃいますが集中ケア認定看護師2名、感染管理認定看護師1名が在籍しており、3名を中心に日々エビデンスに基づいた質の高い看護の提供を心がけています。病棟が広く驚かれることがありますが、その広さを活用し術後早期のリハビリテーションを開始し、早期離床、術後合併症の予防を目指しています。



2列目右から3番目山下看護師

これからも当院の理念でもある安全・安心の医療を提供できるようにスタッフ一同努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

いとう きょうこ

## 編集後記 伊藤 恭子

吹く風に、若葉や花々の香りがさわやかな季節になってまいりました。

4月は、出会いの季節です。新入職者の方々は、初めての職場に出会い、初めての先輩に出会います。希望と期待に胸を膨らませてくる方々を迎える私達も新たな出会いになる瞬間です。これからの前途を祝して、笑顔で迎え入れましょう。